

まえがき

ブラック企業。社畜。サービス残業。過労死。

日本の働き方に対する印象は往々にしてネガティブであり、働くことは大変なこと、つらいことという雰囲気があります。毎日のように残業に追われ、休日もなく、有給休暇も自由に取れない。このような会社で働いていれば、フラストレーションが溜まるのは必然です。飲み会をしても愚痴ばかり。たまの休日も、疲れを取るために寝て過ごすだけ。残念ながら、このような働き方をしている方が非常に多いのが実情です。

その一方で、従業員の満足度が高い会社で、生き活きと仕事をしている方もいます。当社の取引先でも、明らかに社内の雰囲気がよく、従業員の表情も明るい会社があります。

ご自身はどちらの会社で働きたいでしょうか。誰しも、労働環境のいい後者の会社に入りたいはずです。では、経営者の方はどうでしょう。人により重要視する度合いの差はあるにしろ、できることなら自身の会社を働きやすい会社にしたいたいです。にもかかわらず、大半の会社はそ

れが達成できていないという実態があります。

労働環境のいい会社と、悪い会社——両者の違いは、一体なんなのでしょう。

この本は「労働環境に不満を感じているものの、何をすれば解消できるのかわからない従業員」、「労働環境を改善し、社員の定着を図りたいリーダーや経営者」に向けて書きました。筆者の実体験を交えながら、その改善策を具体的にご紹介します。私はIT系エンジニア、いわゆるSEなので、IT業界ならではの問題点や改善方法もお伝えしています。

私は何度か転職をしています。結局どの会社にも満足せず、2017年2月に株式会社プロテックを設立しました。労働者と経営者、どちらの立場も経験していますので、双方の視点から、労働環境改善に向けた私なりのアプローチをご紹介します。

この本を読まれる方の多くは、限られた時間の中で日々を忙しく過ごされているかと思いますが。そのため、端的にお伝えできるよう、図やグラフを使用しながら、わかりやすさを追求しました。労働環境改善のための一助となれば幸いです。